

第3回
臨時議会
4月27日

否決

副町長選任議案 反対8・賛成7で

一般選挙後初の議会を4月27日に開き、副町長の人事議案のほか3議案が上程されました。副町長の選任議案は賛成7・反対8で否決になりましたが、そのほかの議案は原案通り可決になりました。

専決処分

大山町税条例の 一部改正

個人住民税の配当割、株式等の譲渡所得の明文化、法人住民税の延滞金の規定、固定資産税の特例を改定するもの

質疑

【野口昌議員】耐震構造の建物が対象だが、町民の建物でも対象か。

【税務課長】町内ではまだない。これから申請も出てくると思う。

【野口昌議員】PRも大切だと思いがどう考えているか。

【税務課長】これまでどおりと同じく広報を通じて行いたい。

【野口俊議員】最低限の耐震構造の基準は。

【税務課長】詳細はまだ調べていない。今後は増えてくると思うので担当者と協議を進める。

専決処分

国民健康保険税 条例の一部改正

国保税の2割および5割軽減の判定所得の算定で被保険者1人の当たりの金額を引き上げる

質疑

【大森議員】軽減の枠が広がるがどの位になるか。

【税務課長】算定の最中でまだ正確な数字は出ていない。

副町長の選任

会計管理者 野間一成氏を副町長として提案

討論

【反対…大杖議員】基金運用の評価損が2.5億円出ている。南海トラフの地震があつたら高い比率の借入金がか心配だ。

【賛成…野口昌議員】利益も上がったこともある。町財政も潤うことも必要。



改選後の初議会

【反対…加藤議員】含み損が出て塩漬けになった長期国債が20億円弱ある。町長や副町長に相談しないで、基金を私的に使って楽しんでる。

【賛成…近藤議員】資金運用は前森田町長の元でしていた。今後の運用については別途考えればよい。

第4回
臨時議会
5月10日

可決

再度提出された 副町長の選任議案 賛成8・反対7で

5月10日臨時議会を開きました。副町長の選任（野間一成氏を再提案）、教育長の任命議案ほか任命・選任の5議案は原案どおり可決しました。

教育長の任命

元大山小校長 鷲見寛幸氏
を教育長として提案

質 疑

【門脇議員】 教育行政の課題と適任であると判断したポイントは。

【町長】 本町に住み続けたい、帰ってきていただけた子どもたちに育ててほしい。鷲見さんは社会教育にも精通し、本町の出身で、本町に対する愛を感じた。

副町長の選任

質 疑

【大杖議員】 町の大切な資金を使って含み損を発生させた。町長が疑惑の事実説明をしてからでもいいのではないか。

【町長】 不祥事のように言われるが、内規に基づいて行ったもので、総務常任委員会には報告をしている。運用で年間約2300万円の金利が入っている。

【加藤議員】 上司に報告がなかったから始末書を書いている。

【町長】 内規の運用で上司と部下の間にとり違いがあった。内規の見直しをする。

【岡田議員】 必要に応じてと後追いのように作ったよ
うだが。

【町長】 曖昧なことを決めた側と受ける側との違いがあった。

【森本議員】 内規にも曖昧なところがある。報・連・相がなく起こった問題、今後どうするのか。

【町長】 時間はかかるが、なんでも言える職場環境をつくる。

討 論

【反対…門脇議員】 報道された不祥事や基金の含み損を発生させたことは、関係者が声を上げていれば防げたのでは。コンプライアンスを徹底できる外部から選任すべきである。

【賛成…近藤議員】 基金運用は前町長が決めた内規に基づいてのことである。行

政経験の少ない町長には多くの職員をまとめるために内部からの選任が必要である。

【反対…加藤議員】 額面上で買ったものもあるが説明がなかった。十分な説明であったか。

【賛成…野口昌議員】 基金を低金利で預けておくより運用して財政を潤すことも必要である。

【反対…大杖議員】 大山開山1300年祭を控え、国・県からの支援が必要である。県に人材を求めているかどうか。

【賛成…大森議員】 詳しい説明では基金運用の含み損はその経過の中でのことで、元本は保証されている。

【賛成…西尾議員】 3月議会で総務委員会に説明しているが、その後始末書を書いている。含み損で始末書を書くことは不思議、含み益が出ていた時はどうだったのか。

【賛成…池田議員】 不安だったが、内規に基づいて運用していたことが解明できた。町のことをよく知っている人が適任である。